

平成25年度中山間地域対策プロジェクトチーム会議【第1回】

日時：平成25年4月25日（木）13:15～16:00

場所：職員会館健康教育室

進行：今岡課長

- 1 地域振興部長あいさつ
- 2 今年度の推進体制・スケジュールについて
- 3 現場支援の考え方について
- 4 高知県における中山間地域対策の取組について
- 5 意見交換

（次回）5月23日（木）14:00～17:00 職員会館健康教育室

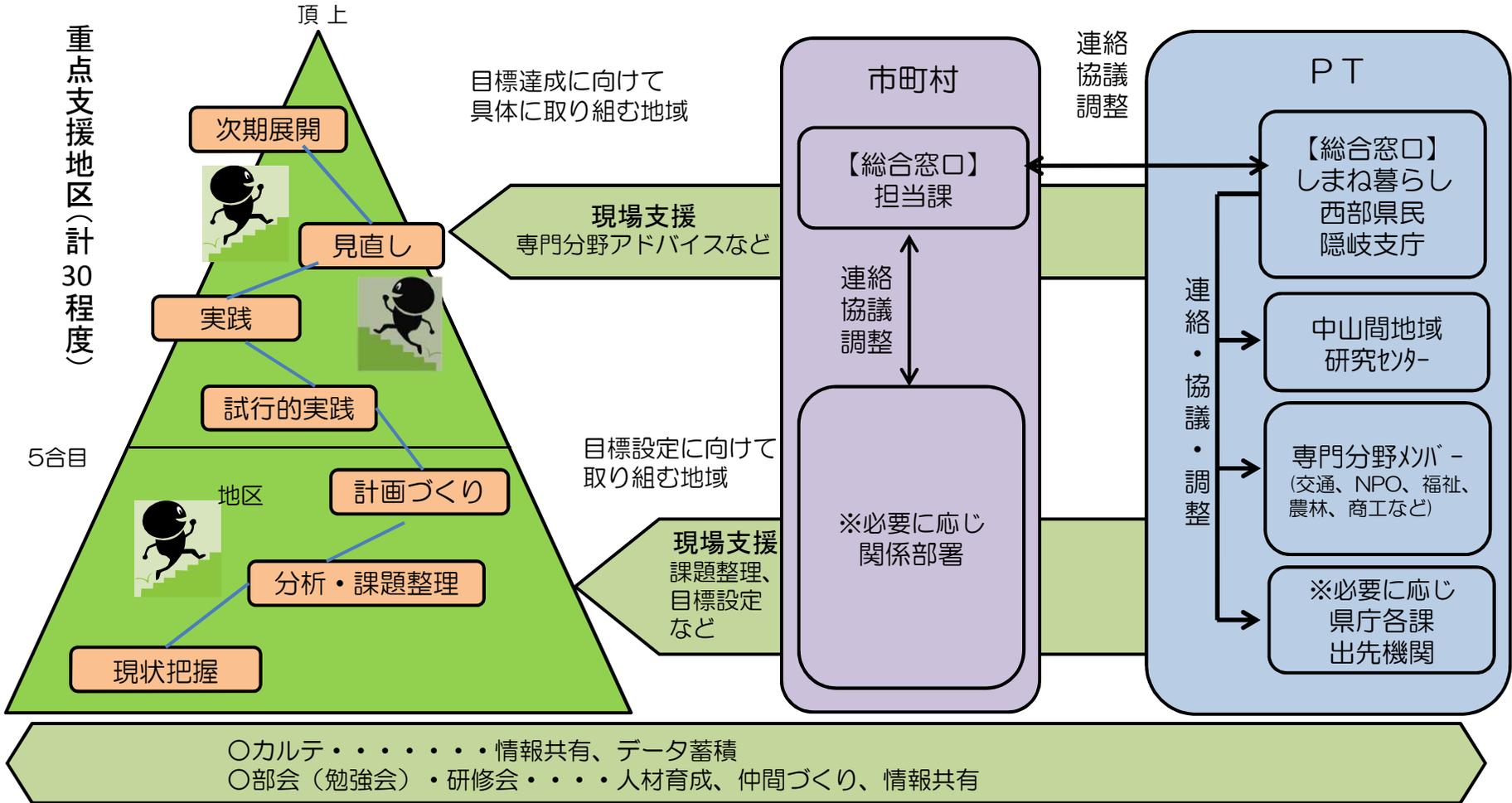
中山間地域対策プロジェクトチーム(PT)の進め方

資料1

目標: 次世代定住に向けた仕組みづくり
 ~ここで一緒に暮らそう~

PTの進め方

- 月1回程度はまず現場へ
 支援の内容は課題整理・目標設定から専門分野アドバイスまで様々な必要な支援を把握するためまず現場へ、
 ※ただし、地区の状況、進捗状況に応じて柔軟に対応
- 情報共有をしっかりと
 地区の進捗状況を共有し、同じ課題を共有する地区間同士の交流(部会・研修会など)に繋げていく



中山間PT 平成25年度スケジュール(案)

資料2

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
PT	<ul style="list-style-type: none"> ● 25年度の推進体制確認 ● 現場支援の考え方整理 	複合的拠点づくりの検討 新たな資金調達方法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ● 高知県 視察 		
現場支援				
部会				
カルテ開発				

PT	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
現場支援	現場支援チームの編成・支援											報告会
部会	部会開催(適宜)											
部会	地域サポート人材のスキルアップ研修 等											
カルテ開発	仕様確認・決定		カルテ開発(DB等)		テスト運用開始	システム開発(連携等)		ポータルサイト整備等			本番運用開始	

現場支援報告・情報共有

現場支援の進め方

資料3

- 「次世代の定住、住み続けられる地域づくり」の実現のため、緊急性の高い地区を中心に30地区程度を支援
- しまね暮らし推進課、隠岐支庁、西部県民センターの地区担当を中心に、各地区ごとにチームを編成。同じメンバーで継続して支援にあたる。
- 地区における組織体制、計画策定等の状況に応じて、内発性が高い地区(第一重点支援地区)、計画づくり等から始める地区(第二重点支援地区)に分類し、特に後者について中山間地域研究センターのノウハウを活用しつつ支援を行う。

内発性が高い地区(第一)

- ◇20地区程度を目途に選定
- ◇主な支援
 - ①会議等の場への定期的な参加(月1回程度)
 - ②PTメンバー及び関係各課等への情報の橋渡し、地区への宿題返し
 - ③同様の課題を持つ地区の橋渡し、そこから派生する「学び合い」の場づくり
→中山間地域研究センターが実施する「集落支援員等スキルアップ研修」の鳥獣対策、コミュニティビジネス、事務管理等の各講座参加者有志がスピノフで展開するイメージ
- ◇対象地区
美又、窪田・須佐、黒松、吉田、谷、別府、畑迫、青原、真砂



役員会への参加



ワークショップ

計画づくり等からの地区(第二)

- ◇10地区程度を目途に選定
- ◇主な支援
 - ①地域の課題や資源を洗い出す「スキャニング」の実施(別紙参照)
 - ②計画策定等のためのワークショップの実施
 - ③「次世代の定住」に向けたロードマップ(すぐろく?)の作成
 - ④計画策定後の事業実施への支援
→第一重点支援地区と同様の支援へ
- ◇対象地区
塩田
(H25 5地区程度、H26 5地区程度の着手)

○支援のカタチはいろいろ…

はなす～地域の現状・課題の洗い出し、地域の思いの聞き取り、ワークショップ
さがす～担い手の確保、地域資源の発掘、活動の財源(補助金)、情報
つなぐ～県庁内の連携、外部専門家の紹介・招へい、他の地区への橋渡し、マスコミへの報道依頼
はげます～褒める、市町村担当職員の聞き役、地域の製品の購入・宣伝、各種表彰への推薦
みまもる～ホームページの閲覧、facebookの「シェア」「いいね」
まとめる～会議のファシリテーション、しまねの郷づくりカルテへの記録・保存



外部講師の紹介



報道依頼

○各課の皆さんにお願いしたいこと

- ・現場へ出かけること
- ・部会(研修)への協力
- ・部局連携による課題解決の提案
- ・カルテの充実のためのデータ提供 等

【提案】「できますカード」を作ってみませんか？

現場では「それで、あなたは何をしてくれるん？」と聞かれることがしばしばです。
職場の名前から想像できること以外にも、得意分野、役立つ特技・人的ネットワークがあるのでは？
そういった情報を「見える化」して、地域とのコミュニケーションをスムーズにしてみませんか？



できますカード(案)

研修・部会『地域・実践者の学び合いの場づくりの支援』

資料4

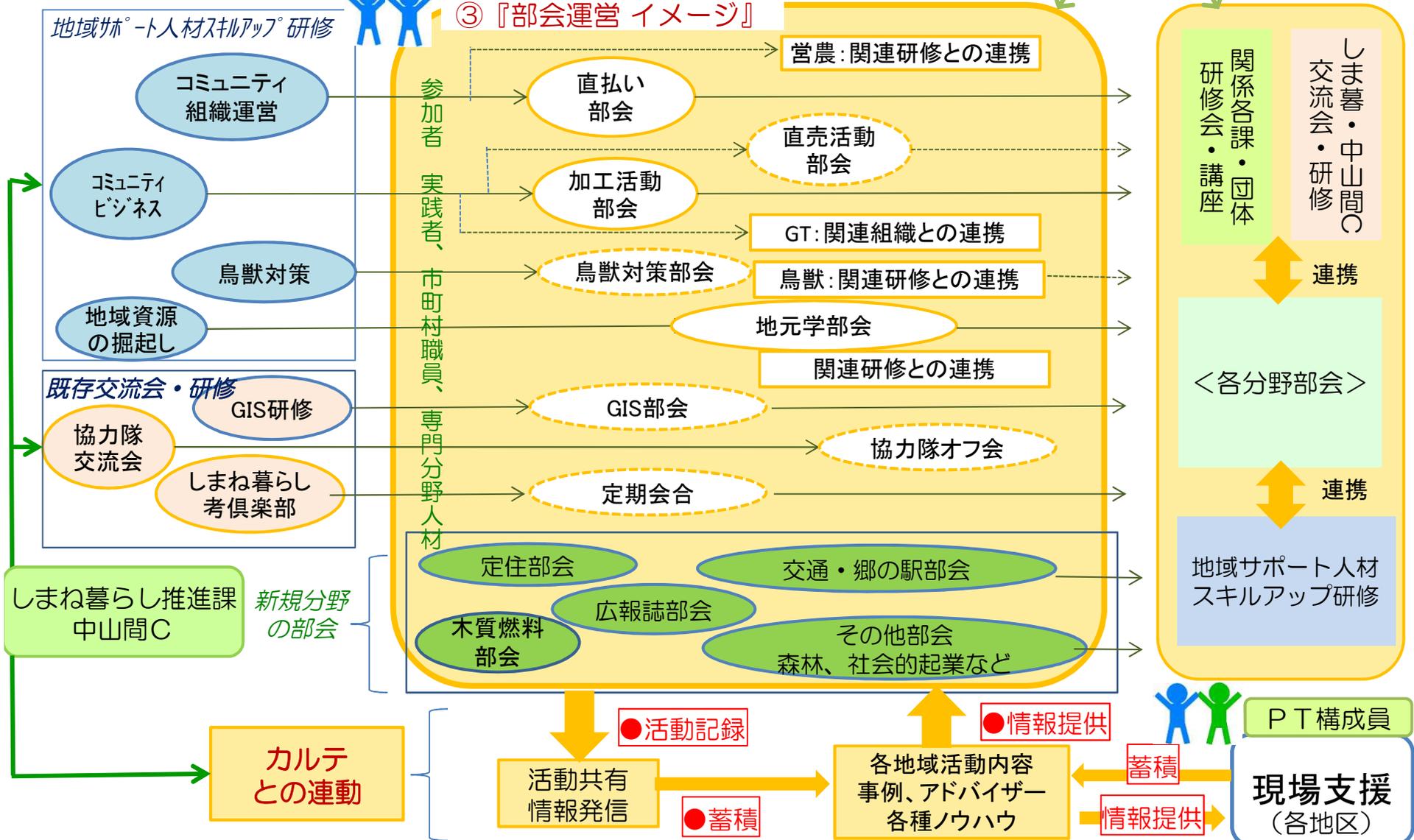
①研修や交流会の開催
 広報誌の開設など
 様々な形で実践者が集まる。

②研修会、交流会からつなげて、各部会を開催
 部会：より掘り下げて、各分野の実務者が相互に
 学び合うことを目的にした会合。研究会（勉強
 会）、相互視察、交流会、オフ会等を想定

H25年度(5月～)



③『部会運営イメージ』

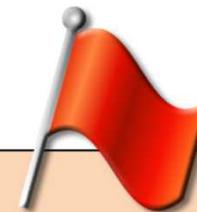


県庁PT支援における中間目標、ステップの提案(たたき台) 2013/4/25 中山間C・藤山

県庁PTは、次のような次世代の定住に向かう各地区の歩みを重点支援します！

今月はこの地区で5合目達成！！

共同のホームページ、マップで情報発信！



<10合目>「定住の郷宣言」(=「ここで一緒に暮らそう！」)

<9合目>「移住の手引き」、後見人等の迎え入れ組織づくり

<8合目>外部との交流(ツーリズム、定住案内試行、部会への参加)

<7合目>小さな取り組み実践(小さな成功、失敗から学ぶ等) * 各分野

<6合目>地域運営組織づくり(特に事務局機能の強化)

<5合目>「定住の郷づくり」計画=山口県の夢プランのようなワンシート

<4合目>住民ワークショップ(地域の課題・可能性の共有)

<3合目>地元学(地元民、外部の人・PTメンバー)で共同探索

<2合目>詳細カルテ(現地スキニング地図、つながり図)

<1合目>カルテ診断および報告会 * 定住カルテ(あと何組定住必要)

みんなで励まし合って、いっしょに登ろう！

